

平成28年度

# 患者安全推進 全体フォーラム



日時/場所

平成29年

3月18日(土) 10:00~16:40

東京ビッグサイト 国際会議場 (東京都江東区)

りんかい線「国際展示場」徒歩約7分/ゆりかもめ「国際展示場正門」徒歩約3分

今年度の全体フォーラムは、午前の部では、現在活動している五部会が今年度の取り組みの成果についてご報告するとともに、部会で取り上げているテーマに関する最新の知見について情報提供(講演)を行います。また、10年ぶりに実施した「病院内の入院患者の自殺事故に関する調査」の結果報告を行います。

午後の部は、「リーダーシップとチームマネジメント」をテーマとしたパネルディスカッションを企画いたしました。フロアの皆様とも活発に討議する機会といたしますので、ふるってのご参加をお待ちしております。

午前の部

部会報告

部会活動にまつわる最近のトピックス(全6題)

午後の部

パネルディスカッション

「リーダーシップとチームマネジメント」

基調講演「横断的チームの作り方」

青山 侑氏 (明治大学 ガバナンス研究科(公共政策大学院) 特任教授)

パネリスト1「病院ぐるみで取り組むコーチングとチーム医療」

関 行雄氏 (名古屋第二赤十字病院 副院長・脳神経外科部長、医療安全推進室長)

パネリスト2「チーム医療によるせん妄対策とその効果」

廣瀬 華絵氏 (倉敷中央病院 CCU 看護係長)

パネリスト3「全員参加の医療安全 ——文化として根付くまでのチームマネジメントの実際」

佐々木 御也子氏 (社会医療法人博進会 南部病院 看護部部长・医療安全管理者)

申込受付中

申込締切:3月1日(水)。ただし定員となり次第、受付終了となりますので、お早めにお申し込みください。詳細は裏面をご覧ください。

# 平成28年度 全体フォーラム 募集詳細

- 定員 800名（1病院あたり、何名様でもお申し込みいただけます）
- 募集対象 医療機関にご所属の方（職種は問いません）
- 参加費 会員病院 無料  
会員病院以外の医療機関 お一人様 5,000円
- 受付期間 3月1日（水）まで。ただし定員になり次第受付を締め切らせていただきます。

## 【プログラム】

※プログラム内容は変更する場合がございます。

### I. 午前の部 部会活動にまつわる最近のトピックス(部会報告) 10:00～12:15

- ① 薬剤安全部会 「“重点管理ハイリスク薬”の差別化と管理運用の強化について ～薬剤安全部会発信文書からのポイント解説～」  
渡邊 幸子（部会長、医療法人社団愛友会上尾中央総合病院 情報管理部 医療安全管理課課長）
- ② 検査・処置・手術安全部会 「教育できる人材の育成 検査・処置・手術安全部会の取り組み」  
長谷川 隆一（部会長、筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター／水戸協同病院 准教授）
- ③ 施設・環境・設備安全部会 「物的環境から医療安全を考える 部会セミナー報告」  
小林 健一（部会員、国立保健医療科学院 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官）
- ④ 教育プログラム部会 「安全に必要な『確認』を考える」  
長谷川 剛（部会長、医療法人社団愛友会上尾中央総合病院 院長補佐・情報管理部長）
- ⑤ 患者安全推進ジャーナル企画部会 「『患者安全推進ジャーナル』好評記事の紹介」  
橋本 徹（部会長、倉敷中央病院 臨床検査・感染症科 主任部長）
- ⑥ 院内自殺の予防と事後対応に関する検討会 「『病院内の入院患者の自殺事故に関する調査』の結果と課題」  
河西 千秋（座長、札幌医科大学医学部神経精神医学講座 主任教授）

### II. 午後の部 パネルディスカッション「リーダーシップとチームマネジメント」 13:30～16:40

座長：米井 昭智（倉敷中央病院 医療安全管理室担当、院長補佐）

#### ■企画趣旨

チーム医療の重要性は、常に言い続けられている。しかし、一時の盛り上がりや組織を立ち上げるだけ、特別なスキルを持ったリーダーの力だけに頼った取り組みでは院内に根付かない。部署・職種・職員それぞれが持つ能力を最大限発揮し、形骸化することなく医療安全に貢献し、院内の文化として根付かせていくには、チームマネジメントが不可欠である。

今回の全体フォーラムでは、まず、基調講演として、かつて石原慎太郎東京都知事の第一期目の副知事として、知事のリーダーシップを間近で見、支えてきた経験を持つ、青山 侑氏にご登場いただき、トップのリーダーシップを最大限活かすためのチームのあり方、フォロワーの心得について、お話しをいただく。

引き続きパネルディスカッションでは、三つの病院におけるチーム医療の実例を挙げながら、医療安全につながっていくチームマネジメントのあり方について考えていく。

リーダーシップとフォロワーシップの二つの側面を意識しながら聴講していただくことで、来場した方々の一人ひとりが、自分の立場でできることや職場の将来像を前向きに考えていけるヒントをご提供できる機会としていきたい。

#### 基調講演 「横断的チームの作り方」

青山 侑（明治大学 ガバナンス研究科(公共政策大学院) 特任教授）

#### パネリスト1 「病院ぐるみで取り組むコーチングとチーム医療」

関 行雄（名古屋第二赤十字病院 副院長・脳神経外科部長、医療安全推進室長）

#### パネリスト2 「チーム医療によるせん妄対策とその効果」

廣瀬 華絵（倉敷中央病院 CCU 看護係長）

#### パネリスト3 「全員参加の医療安全 ——文化として根付くまでのチームマネジメントの実際」

佐々木 御也子（社会医療法人博進会 南部病院 看護部部長・医療安全管理者）

#### 全体討議

- お申し込み方法 当協議会ホームページ(<https://www.psp-jq.jcqhc.or.jp/>)よりお申し込みください。  
会員病院の申込はログインが必要です(要・ID、パスワード)。

## 《お問い合わせ》

(公財)日本医療機能評価機構 評価事業推進部 大鹿(おおしか)・古川 Tel 03-5217-2326

ご登録いただいた個人情報については、当機構の個人情報保護方針に基づき安全かつ適正に管理いたします。